

事業所名

LET' S FLY

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

1月

10日

法人（事業所）理念		親切かつ良質な福祉サービスを継続して提供していけるようなシステム作りを目指し、それを実践することによって、地域住民から信頼され、地域のメンタルヘルス活動の拠点として役割を果たします。		
支援方針		児童一人一人に対し各指導員が真摯に向き合うことを重視しています。短期的には学校などの社会場面における集団適応、学習活動への参加継続を目指します。長期的には自立した生活を目指します。自主性を重視し、訓練への参加を強制するような対応はいたしません。また、学校と情報共有を行い適切な療育を行います。		
営業時間		月～金 13時～18時 土・祝・長期休暇 10時～17時	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	プレイルームを広くし、体幹を鍛える設備等も設置して、体が動かしやすい環境にして健康の維持に努めています。また、様々なイベントを企画して人に対する協調性の育成にも努めています。		
	運動・感覚	走る、投げるなどの粗大運動だけでなく、療育では指先を使った微細運動を取り入れます。更に年齢によって異なりますが、時間を定めて運動や感覚の培うための課題に取り組むことができるように支援します。		
	認知・行動	年齢や個人に合わせて学校での課題に取り組みます。また、日常生活に必要な練習も行います。		
	言語 コミュニケーション	動作模倣、口形模倣、音声模倣に取り組みます。模倣を通して視線合わせや指示従事などコミュニケーションに重要な行動を練習します。痙攣対応に取り組みます。痙攣を起こさず適切な言動で要求できることを目標とします。		
	人間関係 社会性	遊びを通じて対人関係を良好に維持する技能を身に付けていきます。特定の場面で発話がなくなる緘黙の緩和に取り組みます。家庭から学校まで幅広い場面に適応できることを目指します。		
家族支援		過程における取組を具体的に提案し、記録を通して支援の過程を客観的に確認し助言していきます。	移行支援	学校や園と連携を図るために、必要に応じて支援内容などの具体的なかわり方について情報共有をします。
地域支援・地域連携		家庭に対して最適な支援が行えるように必要に応じて関係機関と連携を図ります。	職員の質の向上	定期的にスタッフミーティングを実施し、指導の際に発生した問題点を全員で解決に向けて話し合います。利用者の行動を随時記録し、問題が発生した際は臨時でミーティングを開催し解決に向けて取り組みます。
主な行事等		避難訓練、買い物練習、定期的なイベント		

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	放課後等デイサービス LET'SFLY		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 20日		～ 2026年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10世帯	(回答者数) 8世帯
○従業者評価実施期間	2026年 3月 19日		～ 2026年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの発達に応じた個別療育と小集団療育を週単位で実施しています	日々の記録を見直し、対応の仕方や支援方法を反映させ共有している	専門家からのアドバイスを活用し支援のスキルの向上を図ります
2	保護者様との連携・信頼関係の構築	連絡帳を始め、子供たちの様子を丁寧に伝えるように心がけている。	保護者様のご要望に沿った活動等も通信で、定期的な共有していきたい
3	職員間で意見が言える様に風通しの良い環境を整えています	限られた職員間で、子どもたちの変化に気付け、報告、相談話し合いをし、対応できるように取り組んでいます	職員同士、意見交換しやすいように、コミュニケーション取り不在職員にも共有出来るよう心掛けていきます

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士の交流がないです	年に一度保護者様会のご案内をさせていただいておりますが日程が合わず参加して下さる保護者様が少ないです	年1度の保護者様会を継続していき、出来るだけ日程の調整出来るよう検討して行けたらと思います
2	支援室が2階にある為バリアフリー化するには困難	現時点ではバリアフリーにすることが出来ないが室内の配置等に工夫をする	環境、整備の配慮
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 LET'SFLY

公表日 年月日令和8年5月11日

利用児童数 12人

回収数 7人

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	2	0	0	少し狭いと思います。	利用人数に応じ取り組みの工夫をする様にしています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	5	0	0	2	職員全員を把握できていない。	お便りなどで把握できるようにしていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	0	0	0	分かりやすく出来ていると思います。	課題に応じ空間の間仕切りをしている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6	1	0	0	整理されていると思います。	支援後に掃除の徹底と消毒を行っています
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	0	0	0	子どもたちの特性を良く理解してもらえ支援をしてもらっていると思います	内外部の研修に参加しやすいように心がけている
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	0	0	0		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7	0	0	0	半年に1回の支援計画の見直しについてや支援を強化してもらいたい所がとても丁寧に説明されている。	支援継続の必要や達成について丁寧な説明を心がけている。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	0	0	0	家族支援時も丁寧な説明や相談に乗って貰っています。	ありがとうございます。保護者様にも分かりやすく作成し説明をさせていただいております。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	0	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	0	1	有ると思いますが参加したことが無い為分かりません。	個別の療育を行っている事も有り現時点での予定はございません。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	0	0	2	有りと思いますが予定が合わない為参加できていません。	交流会の機会を設けご家族様に対する支援を行っています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6		0	1		日頃の状況を出来るだけ共有し理解に努めております。日々、保護者様と連絡が出来るように体制を整えております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	0	0	1		今後も交流の機会を設けさせていただきます。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	0	0	0		時間外でも相談が出来るよう契約時にお伝えさせていただいており、相談のご予約を頂いた際には迅速に対応をいたしております。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	0	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	0	0	1		Instagramを活用し情報の発信をしております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	0	0	1		契約の際にお伝えをし、必要に応じマニュアルをお渡しさせていただいております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	1	0	1		年2回定期的に行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	0	0	0	連絡を貰った事がある。	事故発生時のマニュアルを作成し、事故が起きた際には速やかに連絡、対応が出来るようにしております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6	0	0	1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6	1	0	0	理由が分からず休みたいと言う日もある。	楽しさと必要に応じた支援のバランスを考慮し取り組みを行ってまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	0	0	0		今後も満足いただける様に支援の内容の改善に活かしてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		LET'SFLY		公表日		令和8年5月11日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		部屋の使い方が利用人数に応じ工夫がされている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		規定に基づいている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		バリアフリー化はされていないが構造化はされている。	階段もありバリアフリー化はされていない。必要に応じ個人対応をしていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	7				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		必要に応じて場所提供が出来る。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		職員間でも内容の把握が出来、業務改善に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2		実施出来るように検討します。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		定期的に研修を行い質の向上を目指している。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1		支援計画に必要な情報は共有できるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		季節に応じたプログラム、活動を取り入れる様にしている。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			イベントを通じ集団活動を取り入れている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		支援前に打ち合わせを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		記録を残し支援計画の見直し、改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		規定に基づき見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		必要に応じて学校との情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		保護者を通じて行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		関係機関と連携を取っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		頻度は少ないが、事業所で行っている。	職員の専門性向上のために機会を設けている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		ニーズが無い為、機会を設ける事をしていない 必要に応じ対応して行きます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡のツールを用い保護者様と共有理解が持てるようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7		交流会を開催している。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		必要時応じてインスタグラムを活用し発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2		
	非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		
47		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
48		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		聞き取りを行い記録に残している。	
49		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		アレルギーの聞き取りをしている。	
50		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
51		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
52		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		事業所内で共有し再発防止の為に話し合いをしている。	
53		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待・身体拘束委員会を開催し適切な対応策を取る様になっている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		虐待・身体拘束委員会を開催し、決定する機会を設けています。		